



フイリサカキ (ツバキ科)

不規則な白の覆輪が入る、サカキの斑入品種です。日陰に強いサカキの性質を持ちながら明るい印象を与えることの出来る樹種です。半日陰の植栽などに大活躍しています。
葉は二列生も互生で、厚みのある皮質、のっぺりとした表面で、鋸歯は全くなく、綺麗な楕円形です。

☆☆育て方☆☆

★置き場所・植付け方

サカキは半日陰の場所を好みます。乾燥や強い風に弱いので、日差しが強い場所は避けてください。植付け時期は5月が適しています。根が浅く広く張るので、しっかり支柱を立て、固定してあげる必要があります。

★土壌・肥料

土質に気を使うことはなく、湿潤で腐葉土などの有機質のたっぷり入った土壌を好みます。肥料は冬に油かす、鶏糞、堆肥、腐葉土等に化成肥料を混ぜた物を根元に穴を掘り、与えます。

★手入れ

枝がさほど密生せずほどよくまとまるので刈込まずになかば放任(間延びしたバランスの悪い枝を切る程度)で育てて自然樹形を楽しむことができます

剪定を行う場合は、刈込みや不要な枝を切って整理する作業を3月又は11月。仕立てた樹形を保つためには7~8月、11月に行うと良いでしょう。水やりは、水切れに弱いため、土が乾いたら与えてあげます。

★害虫

カイガラムシ・すす病などが発生します。

ブラシでこすり落としたり、薬剤を散布して予防します。

※薬剤・・・スミチオン乳剤 オルトラン水和剤 アクテリック乳剤

【ツバキ・サザンカ・シヤラ等と比べると**チャドクガ**の発生は弱いようですが、発生した場合は非常に毒性が強いケムシですので、業者対応をお勧めいたします】

★鉢植え

鉢底に赤玉土やビーナスライトなど水はけの良いものを敷きつめ、培養土を入れます。地植えより土が乾きやすいので、こまめな水やり等、管理が必要です。樹木の生長とともに鉢の大きさを替えてやり、肥料は化成肥料やハイポネックスなどの液肥を与えます。